

保健婦の訪問指導のあり方に関する研究

分担研究者 湯沢布矢子

リサーチクエッション

1. どのような事例に保健婦の訪問は有用か
2. 母子保健に関する保健婦の教育はいかにあるべきか
3. 基本的な母子保健サービスが市町村に移譲されるのに伴い、市町村保健婦と保健所保健婦はどのようにして連携を図るべきか

総括：来年度からいよいよ母子保健サービスが一元化され、保健所保健婦と市町村保健婦の役割分担も、地域保健法を踏まえてルールが敷かれることになる。

当研究班は、リサーチクエッションに沿って、訪問指導班は平成4年度から、教育班と連携班は、平成5年度から、第一線活動の変革期であることを念頭に入れながら、研究を継続している。

(1)訪問指導のあり方に関する研究班

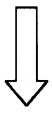
平成4年度と5年度には、フィールドを選定して、訪問指導を詳細に検討したが、6年度は全国レベルで、母親達が訪問指導に対してどのような感想や期待を持ち、評価しているのかを調査した。今年度はその結果を集計するとともに、母子保健の一元化を前に、人口、保健婦数から市町村を分類し、1,057ヶ所の保健婦を対象に、訪問の状況や保健所や保健所保健婦に対する意見等をアンケート調査した。さらに厚生省の資料から、全保健婦の訪問数の推移等をまとめ、問題を検討した。

(2)保健婦の母子保健指導にかかわる教育のあり方に関する研究班

平成5年度に保健婦教育における母子保健のカリキュラムを、57項目に分けて2年間にわたり教育の実態を調査した。今年度はその結果をふまえ、母子保健指導にかかわる基礎教育として強化すべき教育内容の検討と、体験学習を中心とした教育の事例集をまとめ、卒後の新任保健婦のOJTについても研究に着手した。

(3)地域における母子保健指導の連携体制に関する研究班

平成6年度に、小規模町村及び離島僻地を多く管轄している保健所と市町村を選定して、今後の母子保健体制に向けて調査を実施したが、本年度はその結果を集計するとともに、同上の調査対象の中から、特に特徴のある4保健所とその管内町村6ヶ所を選定して、健診を中心に聞き取り調査を実施、具体的な連携について検討した。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



平成7年度心身障害研究

「市町村における母子保健の効率的実施に関する研究」

保健婦の訪問指導のあり方に関する研究

分担研究者 湯沢布矢子

リサーチクエション

1.どのような事例に保健婦の訪問は有用か

2.母子保健に関する保健婦の教育はいかにあるべきか

3.基本的な母子保健サービスか市町村に移譲されるのに伴い、市町村保健婦と保健所保健婦はどのようにして連携を図るべきか

総括:来年度からいよいよ母子保健サービスが一元化され、保健所保健婦と市町村保健婦の役割分担も、地域保健法を踏まえてルールが敷かれることになる。

当研究班は、リサーチクエッションに沿って、訪問指導班は平成4年度から、教育班と連携班は、平成5年度から、第一線活動の変革期であることを念頭に入れながら、研究を継続している。

(1)訪問指導のあり方に関する研究班

平成4年度と5年度には、フィールドを選定して、訪問指導を詳細に検討したが、6年度は全国レベルで、母親達が訪問指導に対してどのような感想や期待を持ち、評価しているのかを調査した。今年度はその結果を集計するとともに、母子保健の一元化を前に、人口、保健婦数から市町村を分類し、1,057ヶ所の保健婦を対象に、訪問の状況や保健所や保健所保健婦に対する意見等をアンケート調査した。さらに厚生省の資料から、全保健婦の訪問数の推移等をまとめ、問題を検討した。

(2)保健婦の母子保健指導にかかわる教育のあり方に関する研究班

平成5年度に保健婦教育における母子保健のカリキュラムを、57項目に分けて2年間にわたり教育の実態を調査した。今年度はその結果をふまえ、母子保健指導にかかわる基礎教育として強化すべき教育内容の検討と、体験学習を中心とした教育の事例集をまとめ、卒後の新任保健婦のOJTについても研究に着手した。

(3)地域における母子保健指導の連携体制に関する研究班

平成6年度に、小規模町村及び離島僻地を多く管轄している保健所と市町村を選定して、今後の母子保健体制に向けて調査を実施したが、本年度はその結果を集計するとともに、同上の調査対象の中から、特に特徴のある4保健所とその管内町村6ヶ所を選定して、健診を中心に聞き取り調査を実施、具体的な連携について検討した。